

表1 ● 妊娠の諸症状に対する漢方療法

切迫流・早産:当帰芍薬散, 芍婦膠艾湯, 芍薬甘草湯	妊娠疹:温清飲, 三黄瀉心湯, 黄連解毒湯, 温経湯
習慣性流・早産:柴芩湯, 小柴胡湯, 当帰芍薬散	頭痛:釣藤散, 呉茱萸湯, 当帰芍薬散
妊娠貧血:当帰芍薬散, 芍婦膠艾湯, 十全大補湯, 帰脾湯, 四君子湯	のぼせ, 口渴:六味丸, 白虎加人参湯, 五積散
妊娠中毒症:当帰芍薬散, 五苓散, 柴芩湯, 防己黄耆湯, 釣藤散, 七物降下湯	不安感:半夏厚朴湯, 当帰芍薬散, 帰脾湯, 四逆散, 加味逍遙散
重症妊娠悪阻:小半夏加茯苓, 半夏厚朴湯, 六君子湯	不眠:酸棗仁湯, 帰脾湯, 加味逍遙散, 抑肝散加陳皮半夏
風邪症候群:桂枝湯, 香蘇散, 参蘇飲 咳嗽, 喘息:麦門冬湯, 麻杏甘石湯, アレルギー性, 花粉症:小青竜湯, 麻黄附子細辛湯	眩暈:苓桂朮甘湯, 当帰芍薬散, 加味帰脾湯, 七物降下湯
便秘:小建中湯, 桂枝加芍薬大黄湯, 麻子仁丸, 潤腸湯	腰痛:当帰芍薬散, 苓姜朮甘湯, 八味地黄丸, 五積散
膀胱症状:当帰芍薬散, 猪苓湯, 五淋散, 猪苓湯合四物湯	冷え性:当帰四逆加呉茱萸生姜湯, 当帰芍薬散, 苓姜朮甘湯, 五積散
尿閉:補中益気湯, 五苓散	腓返り:芍薬甘草湯, 疎経活血湯, 当帰四逆加呉茱萸生姜湯
痔疾:乙字湯, 補中益気湯	遷延分娩:五積散, 人参湯
痔出血:芍婦膠艾湯, 三黄瀉心湯	マタニティブルー:加味逍遙散, 香蘇散, 半夏厚朴湯, 四君子湯, 女神散
静脈瘤:当帰四逆加呉茱萸生姜湯	子宮脱:補中益気湯
下腿:外陰浮腫:五苓散, 当帰芍薬散	切迫早産の塩酸リトドリン治療の 頻脈や心悸亢進:当帰芍薬散, 木防己湯

3. 妊娠に対して西洋医学と異なる漢方医学の基本概念がある？

『金匱要略』には妊娠病篇があり、また『備急千金要方』には妊娠各月の安胎薬と流・早産予防薬の記載がある。このように、いにしえより妊娠時には特に注意を払い、安全性を強調している。① 妊娠時に用いる漢方薬の条件:② 安胎が必須であり、母体ならびに胎児に対して安全である。③ 漢方薬といえども適用を誤れば副作用や有害反応が起こる。④ 構成生薬の安胎、禁忌、慎用薬の基準に則る。漢方エキス剤の多くは慎用薬である。特に漢方薬の薬効見直しの中での問題点(瀉下剤)についても知る必要がある(表2)。⑤ 漢方医学からみた妊娠の病態生理は⑥ 母体は陰血が不足し、口渴、便秘、体熱感、眩暈などを生じやすい。⑦ 胎児発育により、母体の気の運行を妨げ気うつを生じる。⑧ 水分代謝に影響を与え、痰(水滯)を生じ、神経過敏、不眠、胸腹部膨満感、嘔吐などを発現。⑨ 脾胃虚(胃腸障害)や腎虚の症状である腰痛、浮腫、歯痛、耳鳴りなどを生ず。

4. 妊娠中の漢方治療に原則がある？

表 ● 妊娠中の慎用薬(特に大黄及び類似薬効の生薬を含む漢方薬)

紅花:治頭瘡一方, 通導散
牛膝:牛車腎気丸, 疎経活血湯, 大防風湯
大黄:茵陳蒿湯, 乙字湯, 九味檳榔湯, 桂枝加芍薬大黄湯, 柴胡加竜骨牡蛎湯, 三黄瀉心湯, 潤腸湯, 大黄甘草湯, 大黄牡丹皮湯, 大柴胡湯, 大承気湯, 治打撲一方, 治頭瘡一方, 調胃承気湯, 通導散, 桃核承気湯, 女神散, 防風通聖散, 麻子仁丸
桃仁:桂枝茯苓丸, 桂枝茯苓丸加薏苡仁湯, 潤腸湯, 疎経活血湯, 大黄牡丹皮湯, 腸癰湯, 桃核承気湯
附子:葛根加朮附湯, 桂枝加朮附湯, 桂枝加苓朮附湯, 桂芍知母湯, 牛車腎気丸, 芍薬甘草附子湯, 真武湯, 大防風湯, 当帰芍薬加附子湯, 八味地黄丸, 麻黄附子細辛湯
芒硝:大黄牡丹皮湯, 大承気湯, 調胃承気湯, 通導散, 桃核承気湯, 防風通聖散
牡丹皮:温経湯, 加味帰脾湯, 加味逍遙散, 芍婦調血飲, 桂枝茯苓丸, 桂枝茯苓丸加薏苡仁, 牛車腎気丸, 大黄牡丹皮湯, 腸癰湯, 八味地黄丸, 六味丸
その他の慎用生薬には麻子仁, 薏苡仁, 乾姜, 枳実, 厚朴, 呉茱萸, 酸棗仁, 辛夷, 薄荷, 半夏がある。

下線の処方方は、メーカーによって左の生薬を含まないものがある。

